

1年生学年だよ

平成 27 (2015)年7月3日

第 20号

吹田市立第二中学校第一学年

文化祭へ向けて 活動スタート テーマは「GHIBLI@NICHU (仮称)」



いよいよ、1年生は、9月に行われます文化祭の舞台発表へ向けて、活動をスタートしました。まだすべては明らかになっていませんが、「GHIBLI@NICHU (仮称)」をテーマに、日本が世界にほこるスタジオジブリの作品の世界を、舞台に再現します。さあ、どんなパフォーマンスになるのやら。とても楽しみです。

昨日は、まず、ジブリ作品のイメージをふくらませるために、宮崎駿監督の代表作「天空の城ラピュタ」を鑑賞しました。登場人物のユニークな動きや台詞の数々にどっと笑い声があがる場面も多々見られました。

教室に戻ってからも「地球は回る〜♪」と口ずさんでいる人や「バルス!!!」と滅びの呪文を唱えている人達がいる、すっかりジブリの空気にそまっています。ちなみに、職員室では桑名先生が「(テーマソングの)『君をのせて』が頭から離れない。」と今にも歌い出しそうでした…(笑)

まあ、何はともあれ全員で力を合わせて文化祭を良いものにしていこう~!!!

作品を鑑賞する姿勢・・・

芸術作品とは、絵画や彫刻など形があるものだけではなく、映画や演劇、ミュージカルなどストーリーが流れていく形に残らないものも含まれます。今後、君たちも大人になるにつれて、様々な芸術作品にふれることも多くなるでしょうし、また、そういう機会をたくさんつくってほしいと思います。

映画や演劇などは、上演時間が2時間程度になるものがほとんどです。中には休憩を挟んで3時間以上にもなる大作もあります。これらの作品は、約2時間のストーリーの中に、様々なメッセージやクライマックスへつながる重要なセリフや場面(布石といいます)がちりばめられています。そのかくされたポイントを探しながら鑑賞することも、大切な姿勢です。

昨日見た映画も約2時間。様々な場面がありましたね。思わず爆笑する場面、ジーンとくる場面、ハラハラドキドキの場面。「おー!」「わー!」という声思わず出ってしまった人もいました。しっかり映画にのめり込んでいたのでしょう。

しかし、その後です。いつまでも、その場면을引きずって、となりの人と話をしたり、落ち着きなくザワザワしたり。その後にあった重要なセリフを聞き逃した人はいませんか?

君たちの鑑賞態度を見ていて、感じたことです。場面だけを切り取って見るのではなく、ストーリーの流れ全体を感じて、細かい部分も見逃さない。そういう姿勢を身につけて欲しい。

自宅でひとり見ているときならまだしも、これだけの人数で見ているときならなおさら周囲にも気がつかなければなりません。少しの声や物音が、作品にのめり込んでいる人には、じゃまなノイズになってしまうのです。

ワッと出た笑い声は、次のシーンになるまでに切る。いつまでもザワザワしない。周囲のじゃまにならないように気をつかう。芸術鑑賞をするときの「たしなみ」として知っておきましょう。

文化祭では、上級生の舞台発表も鑑賞します。おそらく先輩たちは長時間準備して、メッセージのこもった作品をつくりあげてくるでしょう。その思いを、見る側の姿勢で、台無しにしてしまわないように。もちろん、君たち1年生のつくる作品も、大切にされるはずですよ。

さあ、中学生になって初めて、仲間と協力してつくりあげる舞台。決して「出し物」の域でおぼろげな「作品」と呼べるものに仕上げてください!!